

〔装飾古墳〕
装飾文様が意味するものゝ古代人の精神世界
熊本県の北部、阿蘇の北外輪山から有明海へと西流する菊池川。その一帯には、全国的にみても、たいへん多くの装飾古墳が分布しており、その数130基を超えます。特に、玉名平野、菊鹿盆地周辺に集中しており、その平野部には、古代・中世の条里制に基づいて区画された水田などが多く残されています。

熊本県における装飾古墳の出現は4世紀の終わり頃のことです。県南の八代海岸地域から始まります。そこから宇土半島、熊本平野へと分布範囲が広がり、菊池川流域で装飾古墳が造られるようになるのは6世紀に入ってからです。

6世紀初頭の塚坊主古墳(和水町)に始まり、6世紀前半のチブサン古墳(山鹿市)、大坊古墳(玉名市)など、石屋形の内壁に円文や連続三角文・菱形文などの幾何学文様を彩色で描く装飾古墳がみられるようになりますが、こうした文様は、悪霊や魔物などを避ける魔除けの意味があったものと考えられています。

6世紀後半になると、弁慶ヶ穴古墳(山鹿市)、永安寺東古墳(玉名市)などで、人物や舟、馬、鳥などが描かれるように



深掘り！菊池川流域日本遺産エピソード 〜伝説と文化をたずねて〜

社会教育課
文化係
☎0968(34)3047

なります。中でも、弁慶ヶ穴古墳では、人物や馬、荷物を積んだ舟の文様など、菊池川における水運の光景のような絵が描かれました。こうした装飾の中で、舟の積荷に鳥が止まる装飾は、積荷が石棺を表わし、石棺に死者の魂を運ぶ鳥が止まっている様子を描いたとされることから、死者の魂が黄泉の国へ鳥となって飛んでいくという、死後の世界観を表しているとも考えられています。



チブサン古墳



永安寺東古墳



弁慶ヶ穴古墳



弁慶ヶ穴古墳

豆腐の親子とじ丼

4人分量

- 鶏むね肉…………… 250g
- 絹ごし豆腐…………… 1丁 (300g)
- 卵…………… 4個
- 玉ねぎ…………… 200g
- 小ねぎ…………… 20g
- サラダ油…………… 小さじ1
- (A) { だし汁…………… 200cc
しょうゆ…………… 大さじ2
みりん…………… 大さじ2

作り方

- 1 玉ねぎは薄切りにし、豆腐は1丁を12等分に切る。鶏肉は一口大に切る。小葱は小口切りにする。
- 2 フライパンに油を入れ、中火で熱し、鶏肉、玉ねぎを加えて、色が変わるまで炒める。
- 3 (A) を加え混ぜ、豆腐を加え煮立ったら、鶏肉に火が通るまで弱火で煮る。
- 4 溶き卵をまわし入れ、卵が半熟状になるまで約2分煮る。
- 5 白米を盛り、その上に盛り付ける。最後に小ねぎをのせたら完成。

ひとくちコメント

通常の親子丼より、ご飯の量を減らしても満腹に繋がるボリューム感ある丼です。



文芸広場

肥後狂句
ざりざり 離合で肝も縮ゆうどる 庄山 道草
ざりざり 憲法も骨粗しよう症 二瀬 桔梗
ざりざり 間に合わせとる狂句祭 井上りんどう
今さら 金婚迎え離婚げな 福永すみれ
今さら 効きめもなかる神頼み 石原かわせみ
今さら むかしの自慢せんがよか 高木せいや
今さら 猫なで声も効果なし 池上 沢庵
辺り一面 半導体で土地とられ 瀬上 歌子
辺り一面 畑も今じゃ住宅地 池田 茜

かなしき原俳句会
緑なす普賢新山噴火跡 誠一
明滅の奏でる調べ宵螢 明
丈高き野草の中の夏蔵 康子
炎立つ如くに風の樟若葉 弘子
菊水俳句会
青梅のころあいまかねピンに漬け 嶋田 俊一
台風それて十割そばの馳走かな 本田美穂子
手摘みした新茶一煎かの人に 池田 松子

〜和水町公式 Instagram〜



和水町公式Instagramの「今日の石人」では、熊本ヴォルターズの来訪や、議会定例会などを周知しました。
また、町に関わるイベントや、職員募集の発信もしています。

町の旬な情報を発信していますので、ぜひフォローしてください！



和水町公民館図書室だより

問 中央公民館図書室 ☎0968・86・2022
三和公民館図書室 ☎0968・34・3047

開館午前9時～午後10時(年末年始除く) 1回につき1人5冊まで、2週間借りることができます。

4月23日～5月12日の期間「本に親しむ福袋キャンペーン」を実施しました。多数のご参加いただきありがとうございました。今回、4名の児童・生徒の感想をご紹介します。

「先生 宿題わすれました」を読んで

菊水小 5年

ぼくは、この本を読んでおもしろいと思ったことが二つあります。一つ目は、ゆうすけくんが宿題を忘れたことがきっかけでみんなが宿題を忘れて、その理由を考えて2時間なやむなら10分で終わる宿題をやってしまうほうが良いと思ったからです。二つ目は、先生もプリントづくりを忘れたことです。児童につられってしまったのかな?と思いおもしろかったです。

「さわってごらん、ぼくの顔」を読んで

菊水中 1年

赤ちゃんの時は、アザやコブがなかったのに二歳になるとだんだんほほや口びるが少しずつ腫れ出した輝明さん、そのアザやコブのことでいじめられて、いやな思いをしたそうです。人それぞれに個性があり、それだけに冷たい視線で見られたり見て見ぬふりをされたりしていやな思いをする人がいる。私は、それぞれの個性を認め合い病気などでまわりと違っていても一人の人間としてその人を理解し支えていきたいと思いました。

「かあちゃん取扱説明書」を読んで

三加和小 6年

かあちゃんのことについて書いた作文と、それを読んで笑ってほめるとうちゃんが、とてもほえましい本でした。ほかにたくさんのエピソードがあり、とてもおもしろかったので、ぜひ読んでみてください。

「よのなかルールブック」を読んで

三加和中 1年

ぼくが一番この本で印象に残ったのは、よのなかルール2の「すぐに『きれい』『苦手』と言って自分の世界をせばめない。」というのが印象に残りました。ぼくは、「きれい」「苦手」と言って何もしてきませんでした。でもそれがチャンスをつかっていたことが分かりました。なのでこれからは、なんにでもチャレンジしていこうと思いました。

